

学習のヒント

1. 時間の計算, 速さ・時間・距離の計算ができないと, 旅人算を解くことはできない。
土台をしっかり固めること。
2. 問題の内容を, 図に書き表して解いていくこと。

- (1) 1400 m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君は毎分 80 m の速さで A 地から, 花子さんは毎分 60 m の速さで B 地から, 同時に向かい合っ出て出発しました。2 人が出会うのは出発してから () 分後です。
- (2) 2.7 km はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君は毎時 5 km の速さで A 地から, 花子さんは毎時 4 km の速さで B 地から, 同時に向かい合っ出て出発しました。2 人が出会うのは, 出発してから () 分後です。
- (3) () m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君は毎分 65 m の速さで A 地から, 花子さんは毎分 50 m の速さで B 地から, 同時に向かい合っ出て出発しました。2 人が出会うのは出発してから 8 分後です。
- (4) 840 m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君は毎分 () m の速さで A 地から, 花子さんは毎分 65 m の速さで B 地から, 同時に向かい合っ出て出発しました。2 人が出会うのは出発してから 6 分後です。
- (5) 900 m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君と次郎君が同時に A 地を出発して 1 往復しました。2 人が出会うのは () 分後です。ただし, 太郎君の速さは毎分 50 m, 次郎君の速さは毎分 40 m です。
- (6) 1000 m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君は毎分 60 m の速さで A 地から出発し, 花子さんは太郎君が出発してから 2 分後に毎分 50 m の速さで B 地から出発しました。2 人が出会うのは, 太郎君が出発してから () 分後です。

学習のヒント

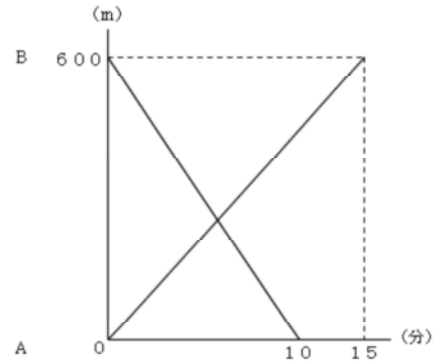
1. 時間の計算, 速さ・時間・距離の計算ができないと, 旅人算を解くことはできない。
土台をしっかり固めること。
2. 問題の内容を, 図に書き表して解いていくこと。

- (1) 花子さんが毎分 60 m の速さで A 地を出発しました。花子さんが A 地から 480 m 進んだとき, 太郎君が毎分 100 m の速さで A 地を出発して花子さんを追いかけると, 太郎君が花子さんに追いつくのは, 太郎君が A 地を出発してから()分後です。
- (2) 太郎君は毎分 60 m の速さで A 地を出発しました。花子さんは 4 分後に A 地を出発し, 毎分 75 m の速さで太郎君を追いかけてきました。
花子さんは出発してから()分後に太郎君に追いつきます。
- (3) 太郎君は毎時 4 km の速さで A 地を出発しました。花子さんは 20 分後に A 地を出発し, 毎時 6 km の速さで太郎君を追いかけてきました。
花子さんは出発してから()分後に太郎君に追いつきます。
- (4) 太郎君は毎分 72 m の速さで A 地を出発しました。花子さんは 5 分後に A 地を出発し, 毎分()m の速さで太郎君を追いかけてきました。
花子さんは出発してから 20 分後に太郎君に追いつきます。
- (5) ()m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君と次郎君が同時に A 地を出発して 1 往復しました。2 人が出会ったのは, B 地の手前 45 m の地点でした。ただし, 太郎君の速さは毎分 65 m, 次郎君の速さは毎分 50 m です。
- (6) 太郎君は家を出て学校に向かいました。家を出て 22 分歩いたところで忘れ物に気づいたので, すぐに家に引き返しました。太郎君が家を出てから 5 分後に, 弟が家を出ました。
太郎君と弟が出会ったのは, 弟が家を出てから()分後です。
ただし, 太郎君は毎分 70 m, 弟は毎分 60 m です。

学習のヒント

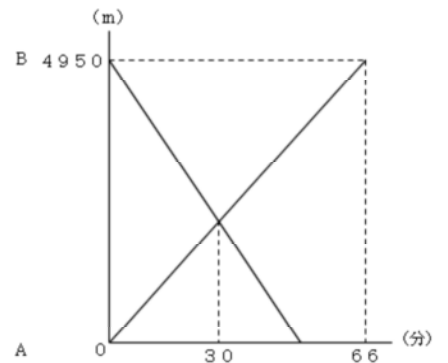
1. グラフをよく見て、速さ・距離・時間が求められるかどうかをよく考えること。
2. 通常の図を書いた方がわかりやすい問題が多い。手抜きせずにしっかり書くこと。

1 A地とB地は600mはなれています。太郎君と次郎君は同時に出発し、太郎君はA地からB地まで、次郎君はB地からA地まで自転車で進みました。右のグラフは、そのときの2人のようすを表したものです。



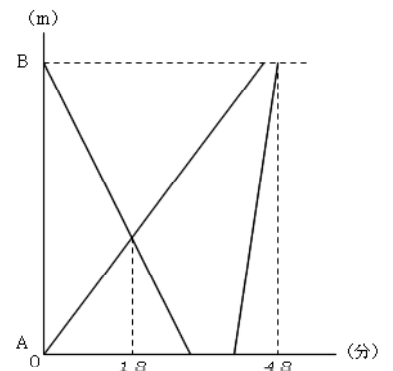
- (1) 太郎君の速さは、毎分()mです。
- (2) 次郎君の速さは、毎分()mです。
- (3) 2人がすれちがったのは、出発してから()分後です。

2 A地とB地の間は4950mはなれています。太郎君と次郎君は同時に出発し、太郎君はA地からB地まで、次郎君はB地からA地まで歩きました。右のグラフは、そのときの2人のようすを表したものです。



- (1) 太郎君の速さは、毎分()mです。
- (2) 次郎君の速さは、毎分()mです。
- (3) 2人がすれちがった地点は、A地から()mのところですか。

3 太郎君はA地を出発し、毎分60mの速さでB地まで歩きました。次郎君は太郎君と同時にB地を出発し、毎分90mの速さでA地まで歩き、A地で9分間休んだあとで、A地からB地まで自転車でもどりました。



- 右のグラフは2人が進んだようすを表したものです。
- (1) A地からB地までの道のりは()kmです。
 - (2) 次郎君の自転車の速さは、時速()kmです。

学習のヒント

1. 時間の計算, 速さ・時間・距離の計算ができないと, 旅人算を解くことはできない。
土台をしっかり固めること。
2. 問題の内容を, 図に書き表して解いていくこと。

- (1) 1800 m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君は毎分 70 m の速さで A 地から, 花子さんは毎分 50 m の速さで B 地から, 同時に向かい合っ出て発しました。2 人が出会うのは出発してから () 分後です。
- (2) 3.5 km はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君は毎時 6 km の速さで A 地から, 花子さんは毎時 4 km の速さで B 地から, 同時に向かい合っ出て発しました。2 人が出会うのは, 出発してから () 分後です。
- (3) () m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君は毎分 72 m の速さで A 地から, 花子さんは毎分 68 m の速さで B 地から, 同時に向かい合っ出て発しました。2 人が出会うのは出発してから 9 分後です。
- (4) 980 m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君は毎分 () m の速さで A 地から, 花子さんは毎分 65 m の速さで B 地から, 同時に向かい合っ出て発しました。2 人が出会うのは出発してから 7 分後です。
- (5) 600 m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君と次郎君が同時に A 地を出発して 1 往復しました。2 人が出会うのは () 分後です。ただし, 太郎君の速さは毎分 95 m, 次郎君の速さは毎分 55 m です。
- (6) 1440 m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君は毎分 80 m の速さで A 地から出発し, 花子さんは太郎君が出発してから 3 分後に毎分 70 m の速さで B 地から出発しました。2 人が出会うのは, 太郎君が出発してから () 分後です。

学習のヒント

1. 時間の計算, 速さ・時間・距離の計算ができないと, 旅人算を解くことはできない。
土台をしっかり固めること。
2. 問題の内容を, 図に書き表して解いていくこと。

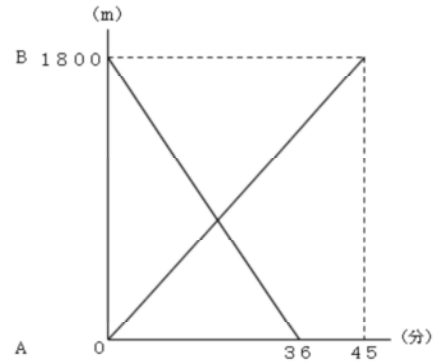
- (1) 花子さんが毎分 60 m の速さで A 地を出発しました。花子さんが A 地から 450 m 進んだとき, 太郎君が毎分 110 m の速さで A 地を出発して花子さんを追いかけると, 太郎君が花子さんに追いつくのは, 太郎君が A 地を出発してから()分後です。
- (2) 太郎君は毎分 80 m の速さで A 地を出発しました。花子さんは 5 分後に A 地を出発し, 毎分 105 m の速さで太郎君を追いかけてきました。
花子さんは出発してから()分後に太郎君に追いつきます。
- (3) 太郎君は毎時 6 km の速さで A 地を出発しました。花子さんは 25 分後に A 地を出発し, 毎時 9 km の速さで太郎君を追いかけてきました。
花子さんは出発してから()分後に太郎君に追いつきます。
- (4) 太郎君は毎分 80 m の速さで A 地を出発しました。花子さんは 5 分後に A 地を出発し, 毎分()m の速さで太郎君を追いかけてきました。
花子さんは出発してから 20 分後に太郎君に追いつきます。
- (5) ()m はなれた A 地と B 地の間を, 太郎君と次郎君が同時に A 地を出発して 1 往復しました。2 人が出会ったのは, B 地の手前 30 m の地点でした。ただし, 太郎君の速さは毎分 65 m, 次郎君の速さは毎分 60 m です。
- (6) 太郎君は家を出て学校に向かいました。家を出て 18 分歩いたところで忘れ物に気づいたので, すぐに家に引き返しました。太郎君が家を出てから 6 分後に, 弟が家を出ました。
太郎君と弟が出会ったのは, 弟が家を出てから()分後です。
ただし, 太郎君は毎分 60 m, 弟は毎分 40 m です。

氏名()

学習のヒント

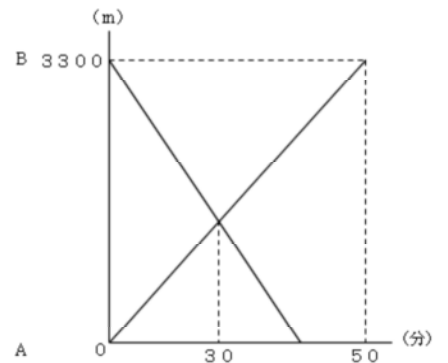
1. グラフをよく見て、速さ・距離・時間が求められるかどうかをよく考えること。
 2. 通常の図を書いた方がわかりやすい問題が多い。手抜きせずにしっかり書くこと。

1 A 地と B 地は 1800 m はなれています。太郎君と次郎君は同時に出発し、太郎君は A 地から B 地まで、次郎君は B 地から A 地まで自転車で進みました。右のグラフは、そのときの 2 人のようすを表したものです。



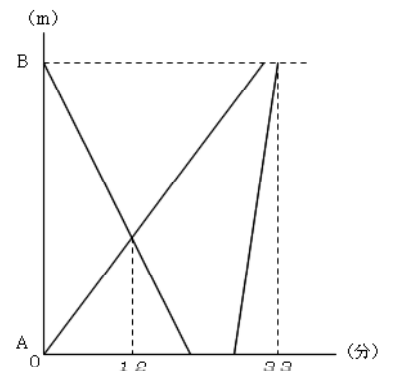
- (1) 太郎君の速さは、毎分()m です。
 (2) 次郎君の速さは、毎分()m です。
 (3) 2 人がすれちがったのは、出発してから()分後です。

2 A 地と B 地の間は 3300 m はなれています。太郎君と次郎君は同時に出発し、太郎君は A 地から B 地まで、次郎君は B 地から A 地まで歩きました。右のグラフは、そのときの 2 人のようすを表したものです。



- (1) 太郎君の速さは、毎分()m です。
 (2) 次郎君の速さは、毎分()m です。
 (3) 2 人がすれちがった地点は、A 地から()m のところです。

3 太郎君は A 地を出発し、毎分 50 m の速さで B 地まで歩きました。次郎君は太郎君と同時に B 地を出発し、毎分 60 m の速さで A 地まで歩き、A 地で 4 分 24 秒休んだあとで、A 地から B 地まで自転車でもどりました。



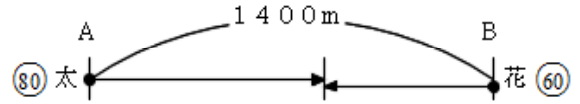
- 右のグラフは 2 人が進んだようすを表したものです。
 (1) A 地から B 地までの道のりは()km です。
 (2) 次郎君の自転車の速さは、時速()km です。

解答

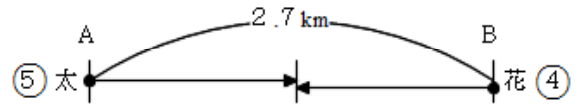
- (1) 10 (2) 18 (3) 920 (4) 75 (5) 20 (6) 10

解説

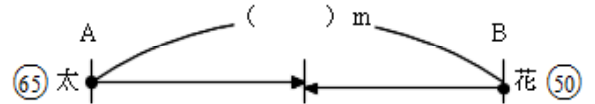
- (1) はじめ、2人は1400mはなれている。
 1分間に、 $80 + 60 = 140$ (m)ずつ、
 2人の間がちぢまっていく。
 2人が出会うのは、
 $1400 \div 140 = \underline{10}$ (分)後。



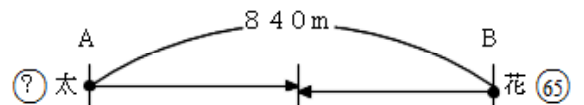
- (2) はじめ、2人は2.7 km はなれている。
 1時間に、 $5 + 4 = 9$ (km)ずつ、2人の間
 がちぢまっていく。
 2人が出会うのは、
 $2.7 \div 9 = 0.3$ (時間)後。
 1時間は60分だから、 0.3 時間は、 $60 \times 0.3 = \underline{18}$ (分)後。



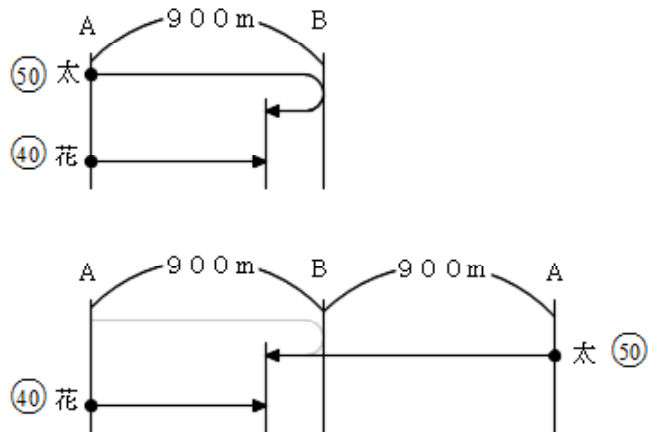
- (3) 1分間に、 $65 + 50 = 115$ (m)ずつ、
 2人の間がちぢまっていく。
 8分間に、 $115 \times 8 = 920$ (m)ちぢ
 まったのだから、2人ははじめに、920 m
 はなれている。



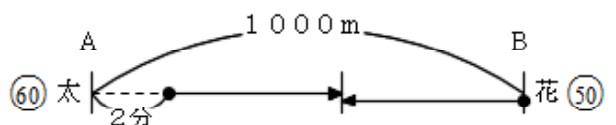
- (4) 6分間で840mちぢまったのだから、
 1分間で $840 \div 6 = 140$ (m)ずつ、ちぢ
 まった。
 花子は1分間に65mずつ進むのだから、
 太郎は1分間に、 $140 - 65 = \underline{75}$ (m)ずつ
 進む。これが太郎の分速。



- (5) 太郎の方が速いので、右の図のようになる。
 このように図の場合は、折れ曲がっている
 部分をまっすぐにして考える。
 すると、太郎と花子が同時に出発するとき、
 2人は $900 \times 2 = 1800$ (m)はなれている。
 1分間に、 $50 + 40 = 90$ (m)ずつ、2
 人の間はちぢまっていくから、
 $1800 \div 90 = \underline{20}$ (分)後に、2人は出
 会うことになる。



- (6) 花子が出発するとき、太郎はすでに2分間
 進んでいる。太郎の分速は60mだから、
 $60 \times 2 = 120$ (m)だけ進んでいる。
 よって、花子が出発するとき、2人の間は
 $1000 - 120 = 880$ (m)になっている。
 1分間に、 $60 + 50 = 110$ (m)ずつ、2
 人の間はちぢまっていくから、花子が出発してから $880 \div 110 = 8$ (分)後に、2人は出会う。
 太郎は花子が出発する2分前に出発しているのだから、2人が出会ったのは、太郎が出発して
 から $8 + 2 = \underline{10}$ (分)後になる。



解答

- (1) 1 2 (2) 1 6 (3) 4 0 (4) 9 0 (5) 3 4 5 (6) 2 1

解説

- (1) 太郎が出発するときに、花子はすでに480m前にいるが、太郎の方が速いから、いつかは花子に追いつける。

1分間に、 $100 - 60 = 40$ (m)ずつ、2人の間はちぢまっていく。

$480 \div 40 = 12$ (分)で、太郎は花子に追いつく。

- (2) 花子が出発するときに、太郎はすでに4分間進んでいるから、 $60 \times 4 = 240$ (m)前にいる。しかし、花子の方が速いから、いつかは太郎に追いつける。

1分間に、 $75 - 60 = 15$ (m)ずつ、2人の間はちぢまっていく。

$240 \div 15 = 16$ (分)で、花子は太郎に追いつく。

- (3) 花子が出発するときに、太郎はすでに20分間進んでいる。

20 分 = $\frac{1}{3}$ 時間 だから、 $4 \times \frac{1}{3} = \frac{4}{3}$ (km)前にいる。しかし、

花子の方が速いから、いつかは太郎に追いつける。

1時間に、 $6 - 4 = 2$ (km)ずつ、2人の間はちぢまっていく。

$\frac{4}{3} \div 2 = \frac{2}{3}$ (時間)で、花子は太郎に追いつく。 $\frac{2}{3}$ 時間 = 40分。

- (4) 花子が出発するときに、太郎は $72 \times 5 = 360$ (m)だけ、前にいる。

20分で追いつくのため、1分間に $360 \div 20 = 18$ (m)ずつ、2人の間がちぢまっていく。

太郎は1分間に72mずつ進むが、花子は1分あたり、18mだけ速いのため、花子の分速は、 $72 + 18 = 90$ (m)。

- (5) 太郎の方が速いから、太郎が先にBに着いて、そこで折り返してAにもどる途中で、次郎に出会う。

折れ曲がっている部分をまっすぐにすると、太郎は次郎よりも、 $45 \times 2 = 90$ (m)だけ、先にいる。

1分あたり、 $65 - 50 = 15$ (m)ずつ、差が広がっていくのだから、 $90 \div 15 = 6$ (分)後に、追いつくことになる。

その6分間で、(太郎で考えてもよいが)次郎は、

$50 \times 6 = 300$ (m)だけ進んだのだから、AとBの間の道のりは、 $300 + 45 = 345$ (m)。

- (6) 太郎が忘れ物に気づいた地点は、家から

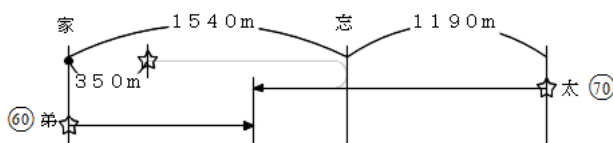
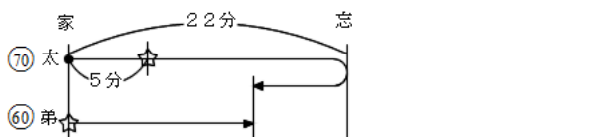
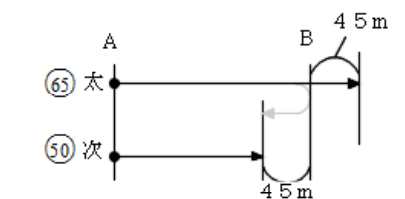
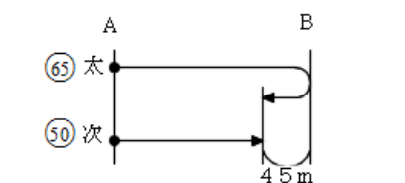
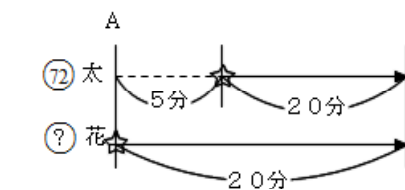
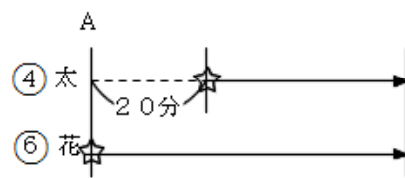
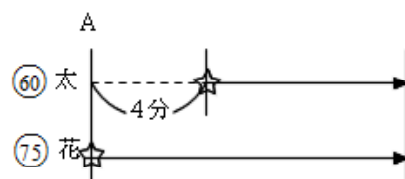
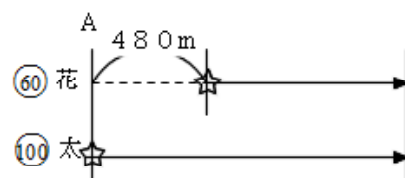
$70 \times 22 = 1540$ (m)のところ。

家から太郎の☆までの道のりは、 $70 \times 5 = 350$ (m)。

よって、☆から忘までは、 $1540 - 350 = 1190$ (m)。

折れ曲がっている部分をまっすぐにすると、太郎と弟は $1540 + 1190 = 2730$ (m)はなれているところから、1分間に $70 + 60 = 130$ (m)ずつ、ちぢまっていく。

$2730 \div 130 = 21$ (分)後に会う。

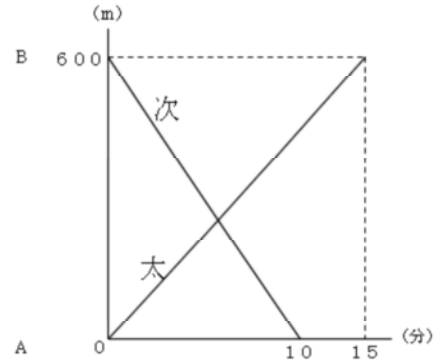


解答

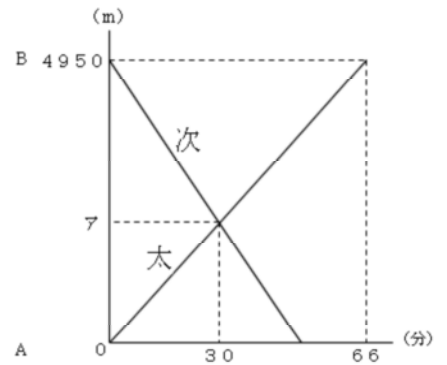
- 1 (1) 40 (2) 60 (3) 6
 2 (1) 75 (2) 90 (3) 2250
 3 (1) 2.7 (2) 18

解説

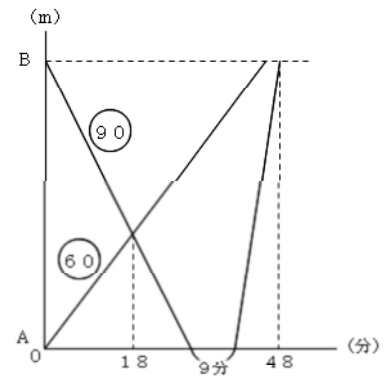
- 1 (1) 太郎はA地からB地までの600mを15分で進んだから、毎分 $600 \div 15 = 40$ (m)。
 (2) 次郎はB地からA地までの600mを10分で進んだから、毎分 $600 \div 10 = 60$ (m)。
 (3) 2人は、はじめ600mはなれていた。
 1分間に、 $40 + 60 = 100$ (m)ずつ、2人の間はずちまると、 $600 \div 100 = 6$ (分)後に出会う。



- 2 (1) 太郎はA地からB地までの4950mを66分で進んだから、毎分 $4950 \div 66 = 75$ (m)。
 (2) 太郎の速さは、毎分75mだから、次郎と出会うまでの30分間で、 $75 \times 30 = 2250$ (m)進んだ。
 その30分間で次郎は $4950 - 2250 = 2700$ (m)進んだ。
 次郎の分速は、 $2700 \div 30 = 90$ (m)。
 (3) (2)で求めたように、A地からアまでの道のりは、2250 m。



- 3 (1) はじめ、2人の間は何mかあったが、1分間に $60 + 90 = 150$ (m)ずつちぢまって行って、18分後に出会ったのだから、はじめの2人の間の道のりは、 $150 \times 18 = 2700$ (m)。
 2700 m = 2.7 km。
 (2) 次郎君がA地に着いたのは、
 $2700 \div 90 = 30$ (分)後。9分休むと、
 $30 + 9 = 39$ (分)。39分から48分までの、
 $48 - 39 = 9$ (分間)で2700m進んだのだから、1分あたり、 $2700 \div 9 = 300$ (m)。
 1時間あたり、 $300 \times 60 = 18000$ (m)
 18000 m = 1.8 km。

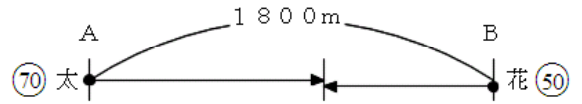


解答

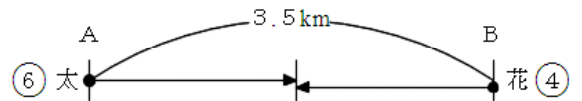
- (1) 15 (2) 21 (3) 1260 (4) 75 (5) 8 (6) 11

解説

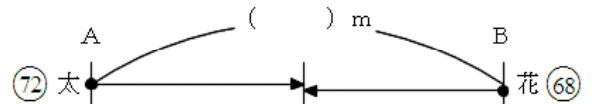
- (1) はじめ、2人は1800mはなれている。
 1分間に、 $70 + 50 = 120$ (m)ずつ、
 2人の間がちぢまっていく。
 2人が出会うのは、
 $1800 \div 120 = \underline{15}$ (分)後。



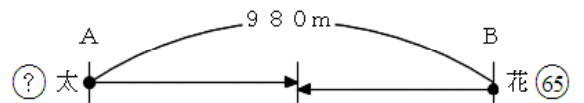
- (2) はじめ、2人は3.5kmはなれている。
 1時間に、 $6 + 4 = 10$ (km)ずつ、2人の間
 がちぢまっていく。
 2人が出会うのは、
 $3.5 \div 10 = 0.35$ (時間)後。
 1時間は60分だから、 $0.35 \times 60 = \underline{21}$ (分)後。



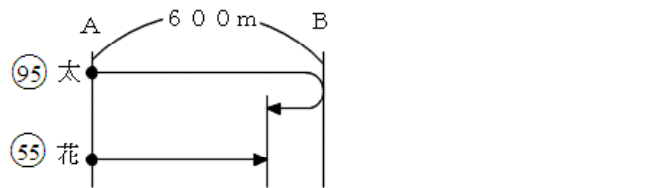
- (3) 1分間に、 $72 + 68 = 140$ (m)ずつ、
 2人の間がちぢまっていく。
 9分間に、 $140 \times 9 = 1260$ (m)ちぢ
 まったのだから、2人ははじめに、1260m
 はなれている。



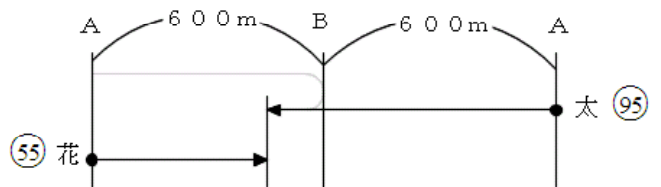
- (4) 7分間で980mちぢまったのだから、
 1分間で $980 \div 7 = 140$ (m)ずつ、ちぢ
 まった。
 花子は1分間に65mずつ進むのだから、
 太郎は1分間に、 $140 - 65 = \underline{75}$ (m)ずつ
 進む。これが太郎の分速。



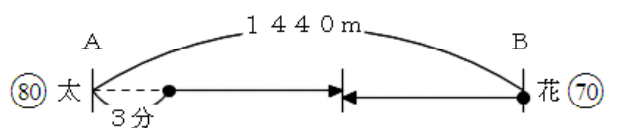
- (5) 太郎の方が速いので、右の図のようになる。
 このように図の場合は、折れ曲がっている
 部分をまっすぐにして考える。
 すると、太郎と花子が同時に出発するとき、
 2人は $600 \times 2 = 1200$ (m)はなれている。



- 1分間に、 $95 + 55 = 150$ (m)ずつ、2
 人の間はちぢまっていくから、
 $1200 \div 150 = \underline{8}$ (分)後に、2人は出
 会うことになる。



- (6) 花子が出発するとき、太郎はすでに3分間
 進んでいる。太郎の分速は80mだから、
 $80 \times 3 = 240$ (m)だけ進んでいる。
 よって、花子が出発するとき、2人の間は
 $1440 - 240 = 1200$ (m)になっている。



- 1分間に、 $80 + 70 = 150$ (m)ずつ、2
 人の間はちぢまっていくから、花子が出発してから $1200 \div 150 = 8$ (分)後に2人は出会う。
 太郎は花子が出発する3分前に出発しているのだから、2人が出会ったのは、太郎が出発して
 から $8 + 3 = \underline{11}$ (分)後になる。

解答

- (1) 9 (2) 16 (3) 50 (4) 100 (5) 750 (6) 18

解説

(1) 太郎が出発するときに、花子はすでに450m前にいるが、太郎の方が速いから、いつかは花子に追いつける。

1分間に、 $110 - 60 = 50$ (m)ずつ、2人の間はちぢまっていく。

$450 \div 50 = 9$ (分)で、太郎は花子に追いつく。

(2) 花子が出発するときに、太郎はすでに5分間進んでいるから、 $80 \times 5 = 400$ (m)前にいる。しかし、花子の方が速いから、いつかは太郎に追いつける。

1分間に、 $105 - 80 = 25$ (m)ずつ、2人の間はちぢまっていく。

$400 \div 25 = 16$ (分)で、花子は太郎に追いつく。

(3) 花子が出発するときに、太郎はすでに25分間進んでいる。

20分 = $\frac{5}{12}$ 時間 だから、 $6 \times \frac{5}{12} = \frac{5}{2}$ (km)前にいる。しかし、花子の方が速いから、いつかは太郎に追いつける。

1時間に、 $9 - 6 = 3$ (km)ずつ、2人の間はちぢまっていく。

$\frac{5}{2} \div 3 = \frac{5}{6}$ (時間)で、花子は太郎に追いつく。 $\frac{5}{6}$ 時間 = 50分。

(4) 花子が出発するときに、太郎は $80 \times 5 = 400$ (m)だけ、前にいる。

20分で追いつくのため、1分間に $400 \div 20 = 20$ (m)ずつ、2人の間がちぢまっていく。

太郎は1分間に80mずつ進むが、花子は1分あたり、20mだけ速いのため、花子の分速は、 $80 + 20 = 100$ (m)。

(5) 太郎の方が速いから、太郎が先にBに着いて、そこで折り返してAにもどる途中で、次郎に出会う。

折れ曲がっている部分をまっすぐにする、太郎は次郎よりも、 $30 \times 2 = 60$ (m)だけ、先にいる。

1分あたり、 $65 - 60 = 5$ (m)ずつ、差が広がっていくのだから、 $60 \div 5 = 12$ (分)後に、追いつくことになる。

その12分間で、(太郎で考えてもよいが)次郎は、 $60 \times 12 = 720$ (m)だけ進んだのだから、AとBの間の道のりは、 $720 + 30 = 750$ (m)。

(6) 太郎が忘れ物に気づいた地点は、家から

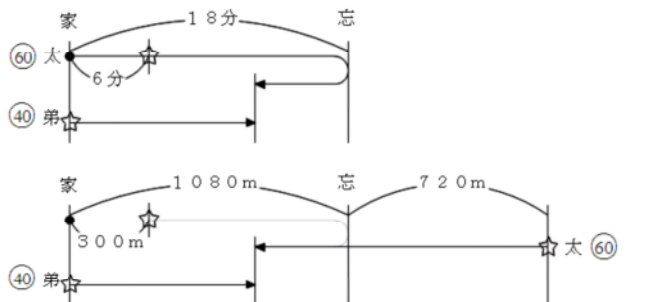
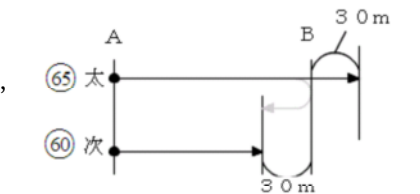
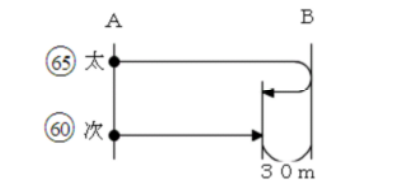
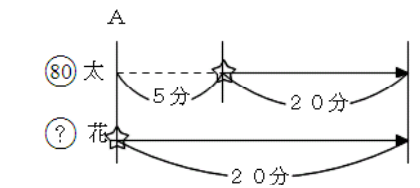
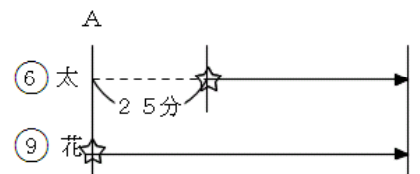
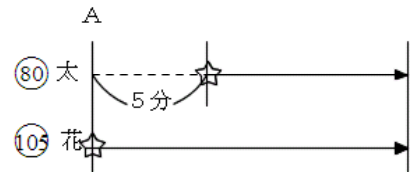
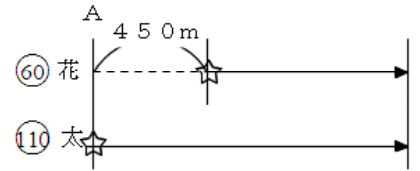
$60 \times 18 = 1080$ (m)のところ。

家から太郎の☆までの道のりは、 $60 \times 6 = 360$ (m)。

よって、☆から忘までは、 $1080 - 360 = 720$ (m)。

折れ曲がっている部分をまっすぐにする、太郎と弟は $1080 + 720 = 1800$ (m)はなれているところから、1分間に $60 + 40 = 100$ (m)ずつ、ちぢまっていく。

$1800 \div 100 = 18$ (分)後に会う。

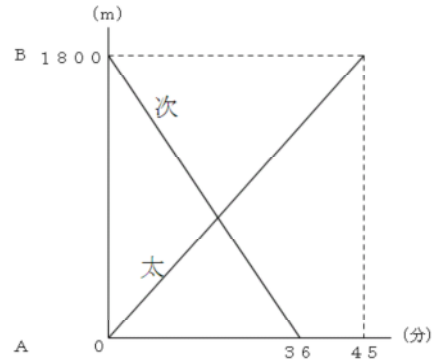


解答

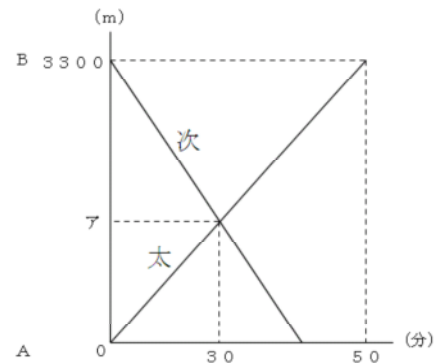
- 1 (1) 40 (2) 50 (3) 20
 2 (1) 66 (2) 44 (3) 1980
 3 (1) 1.32 (2) 12

解説

- 1 (1) 太郎はA地からB地までの600mを15分で進んだから、毎分 $1800 \div 45 = 40$ (m)。
 (2) 次郎はB地からA地までの1800mを36分で進んだから、毎分 $1800 \div 36 = 50$ (m)。
 (3) 2人は、はじめ1800mはなれていた。
 1分間に、 $40 + 50 = 90$ (m)ずつ、2人の間はずちぢまるから、 $1800 \div 90 = 20$ (分)後に出会う。



- 2 (1) 太郎はA地からB地までの3300mを50分で進んだから、毎分 $3300 \div 50 = 66$ (m)。
 (2) 太郎の速さは、毎分66mだから、次郎と出会うまでの30分間で、 $66 \times 1980 = 1980$ (m)進んだ。
 その30分間で次郎は $3300 - 1980 = 1320$ (m)進んだ。
 次郎の分速は、 $1320 \div 30 = 44$ (m)。
 (3) (2)で求めたように、A地からアまでの道のりは、1980 m。



- 3 (1) はじめ、2人の間は何mかあったが、1分間に $50 + 60 = 110$ (m)ずつちぢまって行って、12分後に出会ったのだから、はじめの2人の間の道のりは、 $110 \times 12 = 1320$ (m)。
 $1320 \text{ m} = 1.32 \text{ km}$ 。
 (2) 次郎君がA地に着いたのは、
 $1320 \div 60 = 22$ (分)後。4.4分休むと、
 $22 + 4.4 = 26.4$ (分)。26.4分から33分までの、 $33 - 26.4 = 6.6$ (分間)で1320m進んだのだから、1分あたり、 $1320 \div 66 = 200$ (m)。
 1時間あたり、 $200 \times 60 = 12000$ (m)
 $12000 \text{ m} = 12 \text{ km}$ 。

